# 『当用漢字音訓表』の音訓欄に掲げられた動詞の「自他の対応」

(※印は、対応関係・対立関係を持たないと整理した動詞)

### I 活用語尾による対応〈12語〉

1 る (自・ラ行五段)・す (他・サ行五段) 〈8 語〉

					す	しめ	る	め	l	湿
「自化の文庫」 开寛」 ここは密理した				さとす						論
「自也の対応」、彩紫上、ここを異した。					る	さ と				悟
は			ろげ						-	
「ころげる」「ころがす」は、IVの2			*ころぶ		がす	ころ		ころが		転
					えす	くつが		へつがぇ		覆
	*くださる				す	くだ		、だ		下
			* く		す	きた		った		来
					す	かぇ		かえ		返
					す	かえ		かえ		帰
「おきる」「おこる」は、IVのの自・自「おきる」「おこす」は、IVの5			おきる		こす	おこ		っこる	ぉ	起
					す	おこ		わこ	42	興
					す	うつ		) つ	<u> </u>	移
					す	うっ		っつ		映
					す	うっ		っつ		写
					す	いた			-	致
「自也の付む」であるが、吏用する英字は異なる。								た		· 至
					す	あま	る	ま		余
備	使	他	自	使役動詞	詞	他動	詞	動	自	字種

+4	动比	ы	MIV	<i>&gt;</i> +-	Late	<i>H</i> -	er:	щ	1707	70	<b>+</b> :	字
以	離	グト 	地	氚	<b>喽</b> —	焦	75	朋	l記 	現	衣	字 種
						こぶ				あら	あら	自
なれ	なれ	りれ	かれ	かれ	われ	が れ	かれ	りれ	れ	わわ	らわれ	動
る	る	る	る	る	る	る	る	る	る	る	る	詞
l .						ح						他
な	な	ず	が	が	わ	が	が	ず	<	らわ	らわ	動
						す						詞
												使役動詞
			に			ح						
			げ			げ						自
			る			る						
ぱ			に									
な			が									他
つ			す									
												使
			「にげる」「にがす」は、IVの2			「こげる」「こがれる」は、別語「こげる」「こがす」は、Vの2						備
												考

2 れる (自・ラ行下一段)・す (他・サ行五段) 〈32 語〉

わやまひひ の のになな たどわがた ぼ こご お るるるる る るるるる	なとおおる	こちら	た
たどわがた ぼ こご お	おま	3 .	
え	2 7	か	
3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		5 る	る
わやまひひ の のになな	なと	: ち	た
たどわがた ぼ こご お	おま	ゔか	
すすすす す すすすす	すす	す	す
		ち	た
			り
		る	る
0		ち	
ぼ せ		ら	
8		す	
「のぼす」「のぼせる」は、11の他・他		「ちる」「ちらす」は、IIIの!	「たる」「たりる」は、Iの自・自

貸借员	字種
t P	動
か た り る す	動
かす	使役動詞
<i>†</i>	自
	他
	使
「他使の対応」、形態上ここに整理した。「たる」「たりる」は、Ⅱの自・自	「たる」「たす」は、Iの1

考

4 りる(自・ラ行上一段)・す(他・サ行五段)〈4 語〉

寄載乗 上	字種
よののの	自
ぼ	動
るるる る	詞
よののの	他
せせせぜせ	動
3 3 3 3	詞
	使役動詞
よ	
せ	自
る	
の	
ぼす	他
9	
	使
「のぼす」「のぼせる」は、Iの自・自「のぼす」「のぼす」は、Iの1	備
	考

	3
<u>-</u>	る
	自
	ラ行五段)
seru	・せる
	他
	・サ行下一
	段)
	8
	語

汚	蒸
よごれる	む れ る
	t
	す
	む
	す
	むら
	す
	「むす」「むれる」は、1の自・自「むす」「むらす」は、Ⅲの他・他「むす」「むらす」は、Ⅲの2「むす」「むらす」は、Ⅲの1

5 エる (自・ナ行下一段)・す (他・サ行五段) 〈 2 語 〉

寝	字種
ね	自
	動
る	詞
ね	他
か	動
す	詞
	使役動詞
	自
	他
	使
語根が異なる。	備
	考

6 える(自・ラ行下一段)・す(他・サ行五段)〈8 語〉

燃	超	越	消	字種
\$	ح	ح	き	自
え	え	え	え	動
る	る	る	る	詞
\$	ح	ح	け	他
				動
す	す	す	す	詞
				使役動詞
				自
もやす				他
				使
「もす」「もやす」は、Ⅲの他・他			語根が異なる。	備
				考

える
る eru
(自・ラ行下一
段
・ <sub>ヸ</sub> イ
iru ・イる (他・
_

見	煮	字種
み	に	自
え	え	動
る	る	詞
み	に	他
		動
る	る	詞
		使役動詞
		自
		他
みせる		使
「みる」「みせる」は、1の1181の48		備
		考

着 浴

きあ

るる

きあ

るる

びせ せ

以下「みる」「みせる」まで6語「他使の対応」

考

び

8 

5	見	字種
5	み	自
<b>∃</b> •	え	動
自・「元父)・ナ	る	訶
• }		他
h		動
<u>-</u> <del>}</del>		詞
也・ナゴユ安)	み	使犯
芝	せ	役動
2	る	詞
五		
		自
	み	
		他

る

「みる」「みせる」は、IのIIのスる」「みる」は、Iの7

使

備

考

9 ゠ゔ (自・五段)・す (他・サ行五段)〈2 語〉

潤	字種
うるおう	自動詞
うるおす	他動詞
	使役動詞
*う る む	自
	他
	使
	備
	考

10	浬
ru eru eru	うるおう
・える(他・	うるおす
(他・ア行下一段)	
段)〈2語〉	うるむ

捕	字種
つかまる	自動詞
つかまえる	他動詞
	使役動詞
	自
	他
	使
	備
	考

字種	11 : \( \)	捕	字種
自	iru (他・-	つ	自
動	他	かま	動
詞	上	る	詞
他	段)・せる seru	つか	他
動	s ᆉ	つかまえる	動
詞	oru (	える	詞
使役動詞	(使・サ行下一段) 〈6		使役動詞
自	段)〈6語〉		自
他			他
使			使
備			備

自動詞と自動詞の対立〈4語〉

### 字種 傾 浮入傷痛空開明 か ういいいああ あ 自 たむ たた 動 ぶるむむくく 詞 ういいいああ かたむける 他 かれたたけけ け べれめめ るるるるるる る 動 詞 使 役 動 詞 ううば\* あ か け 自 れ るくる る あ か 他 す 使 「うく」「うかれる」は、Ⅲの自・自 「あける」「あかす」は、IVの2「あく」「あかす」は、IIIの1 備

考

### Ⅱ 活用形による対応〈20語〉

1

五段活用(自)・下一段活用(他)〈82語〉

寄蒸	字種
Î	自
せれ	動
るるるす	詞
	他
	動
	詞
	使役動詞
	自
よむむ せら るすす	他
	使
	備
	考

見	
み	
る	
ଡ	
み	
せ	
る	
み	
え	
る	
「みえる」	
「みる」	
「みせる」は、 I の 7 の 8	
Ø 7 8	

### 7 活用形による対応

緩和休	向	伏	替立	位 惇	衷 愿	丈整	<b>ぎ調</b>	届		詰	続	伝	着	就	付	縮	違	立	建	背	育	添	進	退	従	沈	込	苦	構
ゆやからむ			そり	<u>,</u>	ک د ع	* と	とのの	ど			づ	た				ぢ	が			む	だ		す	りぞ	たが	ず		るし	ま
ゆるめるる	むける	すせる	ひそめる	ならべる	なっける	ととのえる	ととのえる	とどける		つめる	つづける	つたえる	つける	つける	つける	ちぢめる	ちがえる	たてっ	たてる	そむける	そだてる	そえる	すすめる	しりぞける	したがえる	しずめる	こめる	くるしめる	かまえる
すま	むか								つめ			つたわ				ちぢま													
<u></u> 3	う 								<u>る</u>	る		る 				る 													かまう
「やすむ」「やすまる」は、IIIの自・自	「むかう」は「むく」の延言								「つむ」「つまる」は、Ⅲの自・自	「つまる」「つめる」は、Vの1		「つたう」「つたわる」は、Ⅲの自・自「つたわる」「つたえる」は、Ⅳの1				「ちぢむ」「ちぢまる」は、Ⅲの自・自「ちぢまる」「ちぢめる」は、Ⅳの1													「かまう」「かまえる」は、Ⅱの他・他

陥

おちいる

おとしいれる

「おちいる」「おとしいれる」ともに複合語

2 下一段活用(自)・五段活用(他)〈34語〉

割	招	É	破	焼	開	引	脱	抜	溶	解	擦	裂	砕	切	欠	折	売	字種
わ	Ŋ							ぬ										
れ	1	ι	ぶれ	け	らけ	け	げ	け	け	け	れ	け	だけ	れ	け	れ	れ	動
る	Z							る										詞
わ	ng	b	や	や	Ŋ	Ŋ	ぬ	ぬ	と	と	す	さ	<	き	か	お	う	他
			نگ		ら								だ					動
る	Z	;	る	<	<	<	ぐ	<	<	<	る	<	<	る	<	る	る	詞
																		使役動詞
	w*	<i>ъ</i> *	ŧ		Ŋ	Ŋ		ぬ										
	る	ら			ら			か										自
	<	ぐ			<	<		る										
								ぬ	と	と								
								か	か	か								他
								す	す	す								
																		使
					「ひらく」「ひらける」は、Iの自・自	「ひく」「ひける」は、Ⅱの自・自		「ぬける」「ぬかる」は、IVの自・自「ぬく」「ぬかす」は、IIIの他・他「ぬかる」「ぬかす」は、IIIの2	「とく」「とかす」は、IIIの他・他 「とける」「とかす」は、IVの2	「とく」「とかす」は、IIの他・他								備
																		考

3 上一段活用(自)・下一段活用(他)〈4語〉

字種 漏 開 引 詰 廃 透 腐 ももふふひひひつつずすすすく れ るるららけ め たたけ さ えるけるくるくるむるるるくる 自 動 詞 他 動 詞 使 役 動 詞 つ ま 自 る ₺  $\nabla$  $\nabla$ つ す くさら ら ら め か 他 す < る す す 使 と下一段活用で対立 以下「わかる・わかれる」まで18語は、五段活用 備

自動詞と自動詞の対立 **20** 語

考

延	生	字種
の	W	自
$\alpha$	き	動
る	る	詞
の	(J	他
ベ	け	動
る	る	詞
		使役動詞
		自
の	٧١	
ば	か	他
す	す	
		使
「のべる」「のばす」は、IVの他・他 「のびる」「のばす」は、IVの3	「いける」「いかす」は、IVの他・他 「いきる」「いかす」は、IVの3	備
		考
		1

### 字種 任 自 動 詞 他 動 詞 (まかせる 使役動 詞 自 他 使 五段活用と下一段活用で対立 備

考

使役動詞と使役動詞の対
対立へ
2語

含	上	構	卑	合	字種
					自動詞
{ふくめむ	(のぼせる	{かまえる	{いやしめる	(あわせる	他動詞
					使役動詞
	のぼる	かまう		あう	自
					他
					使
				段活用で対立	備考

### 他動詞と他動詞の対立〈10語〉

5	1	5.	}
þ		(わかれる	か
た		*わかつ	け
王段活用と上一段活用で交立	Ļ		

Ⅲ 基本形とその派生形の対応〈66語〉

1 u(自・五段)・asu(他・サ行五段)〈48 語〉

減	励	鳴	悩	飛	照	遣	散	反	澄	済	透	凝	腐	乾	交	驚	動	明	合	字種
				と	τ		ち	そ	す	す	す	٢						あ	あ	自
													さ	か		ろ	<u>ک</u>			動
る	む	る	む	ぶ	る		る	る	む	む	<u> </u>	る	る	<	う	<u> </u>	く 	<u> </u>	う 	詞
^	は	な	な	と	て	つ	ち	そ	す	す	す	ح	<	か	か	おど	うご	あ	あ	他
ら	けま	5	やま	ば	5	か	ら	ら	ま	ま	か	ら	さら	わか	わ	ころか	こ か	か	わ	動
す	す	す	す	す	す	う	す	す	す	す	す	す	す	す	す	がす	す	す	す	詞
						つかわす														使役動詞
					てれる		ちらかる				すける		くされる					あける		自
							ちらかす											あける	あわせる	他
																				使
					「てる」「てれる」は別語	「他使の対応」、形態上ここに整理した。	「ちらかる」「ちらかす」は、Iの1				「すく」「すける」は、Mの自・自		「くさる」「くされる」は、〓の自・自					「あける」「あかす」は、IVの2	「あわす」「あわせる」は、Ⅲの他・他「あう」「あわせる」は、Ⅲの6	備
																				考

抜	刺絡	字種
ぬ	さか	自
か	さま	動
る	3 3	詞
ぬ	さか	他
	ら	動
<	すむ	詞
		使役動詞
ぬ	か	
け	ら	自
る	む	
ぬ		
か		他
す		
		使
「ぬかる」「ぬける」は、IIの自・自「ぬかる」「ぬかす」は、IIの他・他 ( は	「からむ」「からまる」は、Ⅲの自・自	備
		考

3
aru
自
ラ行五段)
n.
他・
五段)
^ 6 ≢#
語

及	字種
およぶ	自動詞
およぼす	他動詞
	使役動詞
	自
	他
	使
	備
	考

u(自・五段)・osu(他・サ行五段)〈2 語	2
「・五段)・osu(他・サ行五段)〈2	u
()・osu (他・サ行五段) < 2	自
1(他・サ行五段)〈2	五段)
<ul><li>サ行五段)へ2</li></ul>	· osu
行五段) 〈2	他
_	行
	へ 2 語

煩	沸	漏	蒸
ず	わ		む
らう	<	る	す
わず	わ	もらす	む
961	か	ら	ら
わ   す	す	す	す
		ŧ	む
		れ	れ
		る	る
			む
			す
		「もる」「もれる」は、IIの自・自 「もれる」「もらす」は、IVの2	「むす」「むれる」は、Iの自・自「むす」「むらす」は、IIのと 「むれる」「むらす」は、IVの2 「むれる」「むらす」は、Aの2

13

4 oru(自・ラ行五段)・u(他・五段)〈2 語〉

合	字種	6 =	聞産生	字種
あ	自	自	きうう	自
	動	· 下	こままえれれ	動
う	詞	(自・下一段)・seru	3 3 3	詞
あ	他	• •	きうう	他
わせ	動	eru		動
る	詞	他	くむむ	詞
	使役動詞	(他・サ行下一段)〈2		使役動詞
	自	2 語		自
あわす	他			他
	使			使
「あわす」「あわせる」は、mの他・他「あう」「あわす」は、mの1	備			備
	考			考

積	字種
つ	自
\$	動
る	詞
つ	他
	動
む	詞
	使役動詞
	自
	他
	使
	備
	考

5

eru(自・下一段)・u(他・五段)〈6語〉

### 自動詞と自動詞の対立〈12語〉

溶	解	忍	字種
			自動詞
を と か すく	を と か すく	(しのばせる	他動詞
			使役動詞
とける	とける	し の ぶ	自
			他
			使
	形態 以下「もす・もやす」もで10語は「u・seru」の	「u・seru」の形態	備考

他動詞
と他動詞の
の対立。
12 語

詰	伝	縮	絡	浮	字種
ま	た た	ぢま	らまら	か れ	自動詞
					他動詞
					使役動詞
つめる				うかぶ	自
つめる	つたえる	ちぢめる	からむ	うかべる	他
					使
		形態の形態	以下「やすむ・やすまる」までO語「u・c	「u・eru」の形態	備
	   {つまる	{つまる つめる つめ つかる つめる つめる つめる つめる つめる つめる つめる つかえ	{つまる つめる つめる   {ったわる つたえる   たちまる ちちめる	{からまる	(うかれる

### 字種 修収治納植埋 薄受改集当温暖預拳揚上 う あ あ あ あ あ あ あ が が ま る る る る る る る おおおおうう 自 ささささわままままま 動 るるるるるる 詞 ううあああああああるあらたたたけけがめるるるるるるるるるるるる おおおおうう 他 ささめめめる るるるるる 動 詞 使 役 動 詞 \* \* \* \* 5 5 5 もすす 自 れられ るぐる 他 使 備 考

### Ⅳ 派生形相互の対応〈24語〉

1

aru (自・ラ行五段)・eru (他・下一段) < 140

語

燃	蒸	抜
や	\{tv ら す す	(ぬぬか すく
8	むむ	<u></u>
え	れ	
る	する	る
		ぬ
		け
		る
「もやす」の派生の基は「もゆ」	「むす」「むらす」は、語根が異なる。	

勤	伝	縮	携	助	高	染	備	狭	絞	締	閉	鎮	静	定	授	下	加	窮	極	清	決	替	換	変	代	固	重	掛	懸	架	終	教
つとまる	つたわる	ちぢまる	たずさわる	たすかる	たかまる	そまる	そなわる	せばまる	しまる	しまる	しまる	しずまる	しずまる	さだまる		さがる	くわわる	きわまる	きわまる	きよまる	きまる	かわる	かわる	かわる	かわる	かたまる	かさなる	かかる	かかる	かかる	おわる	
つとめる	た え	ちぢめる	ずさぇ	すけ	かめ	め	なえ	ばめ	め	め	め	ずめ	ずめ	だめ	ずか	げ	わえ	わめ	わめ	よめ	め	え	え	え	え	ため	さね	け	け	け	え	おそわる
															さずける																	おしえる
	つ	ち																														
	たう	ぢむ																														
	「つたう」「つたわる」は、Ⅲの自・自「つたう」「つたえる」は、ⅡのⅠ	「ちぢむ」「ちぢまる」は、Ⅲの自・自「ちぢむ」「ちぢめる」は、Ⅱの1													「他使の対応」、形態上ここに整理した。																	異なる。 「他使の対応」、形態上ここに整理した。語根が

### 派生形相互の対応 17

2

eru (自・下一段)・asu (他・サ行五段) < 76 語>

明	甘	字種
あける	あまえる	自動詞
あかす	あまやかす	他動詞
		使役動詞
あく		自
あける		他
		使
「あく」「あかす」は、IIIの1		備
		考

「わかれる」は「わかる」から派生	*わかつ	わかっ	わける	わかれる	分
					(例外)
「わかる」「わかれる」は、Wの自・自	* わかつ	わかれる	わける	かる	分
	る	わ	わめ	わま	弱
「やすむ」「やすまる」は、Ⅲの自・自	<u>**</u>	やすっ	やすめる	やすまる	休
	る 	じ	ぜ	ざ	混
	る <u></u>	じ	ぜ	ざ	交
			じえ	じわ	交
			げ	が	曲
			だて	だた	隔
			か め	か ま	深
			ろめ	ろま	広
			く め	くま	低
			やめ	やま	早
			じめ	じま	始
			め	ま	留
			め	ま	泊
			め	ま	止
	*つれる		らね	らな	連
		:	よめ	よま	強
		=			_

詰

ま

る

め

る

つつ

るむ

「つむ」「つめる」は、IIの自・自 「つむ」「つめる」は、IIの自・自

め

					「ぬける」「ぬかる」は、IVの自・自 「ぬく」「ぬかす」は、IIIの他・他 「ぬける」「ぬく」は、IIIの2	「のがれる」「のがす」は、Iの2		「とく」「とかす」は、Ⅲの他・他	「とく」「とかす」は、Ⅲの他・他		「てる」「てれる」は、別語「てる」「てらす」は、Ⅲの1				「たれる」「たらす」は、Vの他・他		「すく」「すける」は、Ⅲの1・自				「ころがる」「ころげる」は、Ⅳの自・自	「こげる」「こがれる」は、別語「こがれる」「こがす」は、Iの2			「くさる」「くされる」は、〓の自・自			
*ひやかす					<i>ф</i>	のがす		ک <							たれる										くさる			
					ぬ か る	のがれる					てる						すく			ころがる	フ	こがれる						
ひんやすっ	ら	た	か	や		が	ら		か		ら	から	いや	ぢら	ら	や	か	ま	ま			こがす	や	ら		ら		5
ひんえれるる	れ る 一	てる	ける	える	ぬ け る	げる	れる	る	ける	る	れる	かれる	いえる	ぢれる	れる	える		める	める		る	げる	える	れる	る	れる	る	れる
冷日	青	果	化	生	抜	逃	慣	溶	解	出	照	疲	費	縮	垂	絶	透	覚	冷		転	焦	肥	暮	腐	枯	遅	荒

3 iru(自・上一段)・asu(他・サ行五段)〈16 語〉

漏	燃	蒸	負	紛	更	増	殖
		む					
れ	え	れ	け	ぎれ	け	え	え
る		る				る	
ŧ	\$	む	ま	ま	£	£	£
ら	や	ら	か	ぎら	か	や	や
す	す	す	す	す	す	す	す
<b>*</b>		t					
る		す					
	\$	む		*まぎらわす			
	す	す		らわす			
「もる」「もれる」は、〓の自・自	「もす」「もやす」は、Ⅲの他・他	「むす」「むれる」は、1の自・自「むす」「むらす」は、Ⅲの他・他「むらす」は、Ⅲの1					

満	延	伸	閉	尽	懲	生	飽	字種
み	の	<u>の</u>	<u></u>	っ		い	あ	自
ち	び	び		き			き	動
る				る				詞
							ىد	/rl.
		の			2			他
た				か				動
す	す	す	す	す	す	す	す	詞
								使役動詞
								自
	のべる		とじる	つくす	*こらしめる	いける		他
								使
	「のばす」「のべる」は、Ⅳの他・他「のびる」「のべる」は、Ⅱの3		「とじる」「とざす」は、IVの他・他	「つかす」「つくす」は、別語「つきる」「つくす」は、Ⅳの4		「いける」「いかす」は、Ⅳの他・他「いきる」「いける」は、Ⅱの3		備
								考

4 iru(自・上一段)・usu(他・サ行五段)〈2語〉

滅干過下降落 起	字種	5 E:	尽	字種
ほひすおおお お	自		つ	自
ろ ぎりりち き	動	•	き	動
3 3 3 3 3 3 3	詞	(自・上一段)・osu	る	詞
ほほすおおおお	他	(2)	つ	他
ろ ごろろとこ	動	nsc	<	動
すすすすすす す	訶	他	す	詞
	使役動詞	サ行五段)		使役動詞
お こ る	自	14 語 ※		自
	他		つかす	他
	使			使
「おきる」「おこる」は、IVの自・自	備		「つくす」「つかす」は、別語「つきる」「つかす」は、Ⅳの3	備
	考			考

### 自動詞と自動詞の対立〈8語〉

起	字種
おきる	自動詞
	他動詞
	使役動詞
	自
おこす	他
	使
	備
	考

### 字種 計捕損住語押 す 自 動 む 詞 他 はと かお か た 動 るる るす 詞 使 役 動 詞 そこなうかたらう 延言 は から (af) う とらわれる 自 とそらこ お さえ 他 えね るる 使 備 考

### V 延言〈22語〉

閉	延	垂	生	字種
				自動詞
じざ	べば	たたらるす	けか	他動詞
				使役動詞
とじる	の び る	たれる	いきる	自
				他
				使
				備
				考

### 他動詞と他動詞の対立〈8語〉

服	Ĭ,	ŧ	友	転			
くら	くれ	<b>つぬかる</b>	け	ろげ	<sub>∫</sub> ころがる		
				7			
			ぬかす	7	ဉ် နှ		

1

活用が同じで、自動詞にも他動詞にも用いられるもの〈43語〉

VI				
対	向	振	踏	恥
応 す る	む			
る語を				
を 持 *	<			
持 た なこ		Z	ふ	は
いも				じ
の *		る	む	る
* 印				
使役動詞にな				
詞 に	む	&		は
る	か	る		じら
もの	う	う 		う 
<b>1</b> 73				
語〉				
	む		ふ	
	け		まえ	
	る		る	
		音韻		
		変 化		
		,u		

仰	(2)	言	(1)
あ	\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	い	「〜う」の動詞
お	•		の動
おぐ	Š	う	
置	「~く」・「~ぐ」の動詞	行	〈 4 語〉
お	<b>8</b> 語》	おこなう	
<		う	
敷		伴	
l		とも	
<		ともなう	
注		笑	

わ

ら

う

(3)

「〜す」の動詞〈6語〉

吹

Z

<

噴

£

<

そ

そ

¢

嘆

な げ

<

働

は

たらく

運	(5)	保	(4)	越
は	\[ \] \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	た	「~~」	( ۱
ح	の動詞	ŧ	の動詞	
ぶ		つ	詞 〈 2	す
結	2 語	持	2 語 ジ	超
む		ŧ		ل
す				
ぶ		つ		す
				差
				か
				す
				増
				ま
				す
				申
				もう
				う
				す
				催
				もよおす

兆	(3)	基	次	輝	歩
き	うす	٢	つ	か	あ
	の動	もべ		がら	る
ざす	の動詞〈2語〉	ともづく	ぐ	やく	<
志	語	行	嫁	渇	行
こころざす		ゆ	と	か	い
ころざ			とっぐ	わ	
す		<	ぐ	<	<
		揺	泣	効	急
		ゆ	な	き	い
		らぐ			いそぐ
		ぐ	<	<	ぐ
		揺	鳴	利	薄
		ゆ	な	き	う
		る			うすらぐ
		ぐ	<	<	ぐ
			響	咲	赴
			ひ	さ	お
			び		もむ
			<	<	<
			瞬	騒	泳
			ま	さ	お
			たた	わ	ょ
			たく	ぐ	ぐ

(2)	奮	沿	会
「く」・「〜ぐ」	\$	そ	あ
\( \)	るう	う	う
の動詞	舞	候	遭
	ま	そう	あ
·	う	そうろう	う
	惑	閪	生
	ま	たた	お
	どう	かう	う
	迷	戦	通
	まよう	たたかう	かよう
	酔	漂	競
	よ	ただ	きっ
	う	よう	そう

患

わ

ずらう

集

ど

う

逆

さ

か

ら

う

2

自動詞として用いられるもの

A 148 語 語

(1)

「〜う」の動詞

~ 18 語 ぎ

張	去	謝	(7)	組	(6)
は	さ	あや	うる の	<	うむ」の
る	る	まる	の動詞へ	む	の動詞へ
控	渋	誤	18 語	楽	3語
ひかえる	しぶる	あやまる		たのしむ	
触	迫	偽		病	
ふれ	せま	いつわ		や	
る	る	る		む	
参	頼	憂			
ま	た	う			
い	ょ	れえ			
る	る	る			
揺	努	覚			
ゆする	つとめる	おぼえる			
忘	募	限			
わすれる	つのる	かぎる			

走	粘	滞	初	茂	困	曇	薫	恐	埋	怒	与	(7)	親	明	(6)	遊	(5)	勝	(4)
はしる	ねばる	とどこおる	そめる	しげる	こまる	くもる	かおる	おそれる	うもれる	いかる	あずかる	「~る」の動詞へ	したしむ	あからむ	「〜む」の動詞へ	あそぶ	「~ぶ」の動詞へ	かっつ	「〜つ」の動詞〈
跳	眠	隣	堪	滴	栄	来	係	訪	熟	憤	焦	87 語	涼	明	12 語	転	<b>今</b> 5 語		1 語
はねる	ねむる	となる	たえる	したたる	さかえる	くる	かかる	おとずれる	うれる	いきどおる	あせる		すずむ	あかるむ		ころぶ			
秀	登	怠	耐	染	盛	煙	駆	劣	老	居	暴		富	步		叫			
ひいでる	のぼる	なまける	たえる	しみる	さかる	けむる	かける	おとる	おいる	いる	あばれる		とむ	あゆむ		さけぶ			
光	昇	苦	黙	優	寂	凍	陰	踊	後	要	有		和	勇		跳			-
ひかる	のぼる	にがる	だまる	すぐれる	さびれる	こおる	かげる	おどる	おくれる	いる	ある		なごむ	いさむ		と			
老	入	鈍	戯	滑	障	凍	偏	躍	怠	飢	在		臨	潤		喜			_
ふける	はいる	にぶる	たわむれる	すべる	さわる	こごえる	かたよる	おどる	おこたる	うえる	ある		のぞむ	うるむ		よろこぶ			
太	映	似	仕	座	触	答	朽	衰	怒	薄	慌		弾	笑					
ふ と る	はえる	にる	つかえる	すわる	さわる	こたえる	くちる	おとろえる	おこる	うすれる	あわてる		はずむ	えむ					

担	欺
かつぐ	あざむく
聴	暴
き	あば
<	<
築	抱
きずく	いだく
割	頂
さく	いただく
裁	描
さばく	えがく
好	書
す	か
7	~

(2)
「〜く」・「〜☆
ぐ」の動
動詞 <b>32</b>
語》

装	払	弔	誓	請	思	占	伺	商
よそおう	はらう	とむらう	ちかう	こう	おもう	うらなう	うかがう	あきなう
	拾	倣	使	恋	飼	追	失	味
	ひろう	ならう	つかう	こう	かう	おう	うしなう	あじわう
	賄	習	償	誘	買	負	歌	扱
	まかなう	ならう	つぐなう	さそう	かう	おう	うたう	あつかう
	養	担	繕	慕	囲	覆	疑	洗
	やしなう	になう	つくろう	したう	かこう	おおう	うたがう	あらう
	雇	縫	培	吸	食	補	奪	争
	やとう	ぬう	つちかう	すう	くう	おぎなう	うばう	あらそう
	結	願	問	救	食	襲	敬	祝
	ゆう	ねがう	とう	すくう	くらう	おそう	うやまう	いわう

## (1) 「~う」の動詞〈49語〉

3

他動詞として用いられるもの〈28 語〉

死	
l	
ぬ	

(8)			
	因	混	降
\( \frac{1}{2} \)	よ	ま	š
の		じ	
動詞へ	る	る	る
1 語	弱	実	経
	よ	み	^
	わ	の	
	る	る	る
	別	群	誇
I .	わ	む	ほ
I .	かれ	れ	۲
	る	る	る
		巡	細
		め	ほ
		ぐ	そ
		る	る
		潜	勝
		₹.	ま
		ぐ	さ
		る	る
		敗	交
		や	ま
		ぶれ	じ
		る	る

忌	編	(6) ¬	呼	選	(5)	裁	過	(4)	古	唆	殺	犯	著	(3)	導	履	貫	炊
い	あ	む	よ	え	「 ~ 淡」	た	あや	<b>√</b>	£	そその	٢	お	あら	「~す」	みち	は	りら	た
む	む	の 動詞 へ 32	ž	らぶ	の動詞 へ7	つ	・まっ	の動詞 へ10	るす	のかす	ろす	かす	りわす	の 動詞 29	びく	<	りぬく	<
疎	怪	語		尊	語	放	撃	語》	施	耕	探	冒	脅	語	貢	省	説	抱
うとむ	あやしむ			たつとぶ		はなっ	うっつ		ほどこす	たがやす	さがす	おかす	おどかす		みつぐ	はぶく	とく	だく
恨	哀			貴		待	討		紛	正	捜	推	脅			弾	研	突
うらむ	あわれむ			たつとぶ		まっつ	うっつ		まぎらわす	ただす	さがす	おす	おどす			ひ く	とぐ	つく
拝	悼			尊		分	打		召	試	指	脅	促			防	除	継
おがむ	いたむ			とうとぶ		わかっつ	うっ		めす	ためす	さす	おびやかす	うながす			ふせぐ	のぞく	つぐ
惜	慈			貴			絶		許	話	示	卸	仰			巻	吐	接
おしむ	いつくしむ			とうとぶ			たっ		ゆるす	はなす	しめす	おろす	おおす			まく	はく	つぐ
囲	営			学			断			冷	記	醸	侵			招	掃	紡
かこむ	いとなむ			まなぶ			たっつ			ひやかす	しるす	かもす	おかす			まねく	はく	つむぐ

握	撮	造	奉	競	薦	搾	提	被	下	狩	掲	抑	訴	戒	与
にぎる	とる	つくる	たてまつる	せる	*すすめる	しぼる	さげる	こうむる	*くださる	かる	かかげる	おさえる	うったえる	いましめる	あたえる
塗	執	告	例	供	捨	絞	支	試	配	駆	飾	帯	得	射	充
ぬる	とる	つげる	たとえる	そなえる	すてる	しぼる	ささえる	こころみる	くばる	かる	かざる	おびる	うる	いる	あてる
練	採	務	食	蓄	統	占	妨	断	比	考	数	織	得	鋳	侮
ねる	とる	つとめる	たべる	たくわえる	すべる	しめる	さまたげる	ことわる	くらべる	かんがえる	かぞえる	おる	える	いる	あなどる
述	取	連	賜	確	刷	調	虐	懲	繰	鍛	奏	省	獲	彩	操
のべる	とる	つれる	*たまわる	たしかめる	する	しらべる	しいたげる	こらしめる	くる	きたえる	かなでる	かえりみる	える	いろどる	あやつる
図	殴	遂	契	尋	攻	知	強	探	企	究	兼	顧	贈	承	併
はかる	なぐる	とげる	ちぎる	たずねる	せめる	しる	しいる	さぐる	くわだてる	きわめる	かねる	かえりみる	おくる	うけたまわる	あわせる
量	投	唱	作	訪	責	勧	縛	避	削	悔	XII	抱	送	請	祈
はかる	なげる	となえる	つくる	たずねる	せめる	すすめる	しばる	さける	けずる	くいる	かる	かかえる	おくる	うける	いのる

(7) 「~る」の動詞〈12話〉

)	詠	憎	頼	悲
ı	ょ	にく	たの	かなし
3	む	む	む	む
	読	盗	慎	刻
	よ	ぬ	つ	か
		す	つし	ざ
	む	む	む	む
		望	謹	悔
		の	つ	<
		ぞ	つし	や
		む	む	む
		飲	包	好
		の	つ	۲١
			つ	の
		む	む	む
		阻	摘	拒
		は	つ	Ŋ
		ば		ば
		む	む	む
		恵	懐	畳
		め	なつ	た
		ぐ	かし	た
		む	むむ	む

揺	報	免	秘	測
ゆさぶ	むくい	まぬがれ	ひめ	はか
る	る	る	る	る
揺	設	守	葬	謀
ゆす	もう	ま	ほう	は
ぶ	け	\$	むむ	か
る	る	る	る	る
譲	用	丸	欲	諮
ゆ	\$	ま	ほ	は
ず	ちい	るめ	っす	か
る	る	る	る	る
	求	認	掘	辱
	も と	みと	ほ	はずか
	める	める	る	かしめる
	盛	診	彫	速
	ŧ	み	ほ	はや
	る	る	る	める
	辞	迎	祭	率
	や	む	ま	Ŋ
	め	かえ	つ	きい
	る	る	る	る